

・・・ 編集後記 ・・・

執筆時点での COVID-19 感染状況は、全国規模で 100 ～ 200 名の新規感染者に止まっています。しかしながら、新規変異株であるオミクロン株が世界で猛威を振るっており、水際対策を必死に行っていますが、市中感染はすでに始まっているかもしれません。日本全体の感染者数は微増しており、第 6 波が心配です。それにしても、ここ数年は世界中が COVID-19 との格闘に明け暮れています。臨床検査技師の教育現場でも COVID-19 感染症に対し、様々な工夫をこらしながら臨床検査技師教育に臨んで来ました。遠隔授業や臨地実習の受け入れ調整、学内実習への変更等、先生方は学生のために大変なご苦勞をされていると思います。さらに、同時期にタスク・シフト/シエアに関する厚生労働大臣指定講習会や臨地実習指導者講習会への対応等、COVID-19 と法改正の両方に対して、日々ご尽力されていると存じます。それぞれの講習会は本年度中に各支部で開催される

予定です。

「臨床検査学教育」14 巻 1 号は一年延期となった第 15 回日本臨床検査学教育学会学術大会の特集が掲載されております。日本臨床衛生検査技師会会長の宮島先生、日本臨床検査学教育協議会理事長の坂本先生の特別講演、教育講演・シンポジウム等、有意義な内容であります。一方、総説として米国臨床検査技師の国際資格：ASCP International の最新情報、さらに原著・報告論文も掲載され、本号は非常に充実した内容になりました。先に述べた社会情勢や臨床検査技師教育を取り巻く環境下でも有意義な機関誌を発刊できたことは、素晴らしく、意義深いことと思います。これからもどのような状況であっても、臨床検査技師を育てる「臨床検査教育」に常に前向きでありたいと思います。

(令和 3 年 12 月 23 日 編集委員 多田 達史)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和 3 年・4 年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：齋藤良一(東京医科歯科大学)、副委員長：高田智世(愛媛県立医療技術大学)

委員：伊藤洋志(長浜バイオ大学)、大川龍之介(東京医科歯科大学)、岡山香里(群馬パース大学)、岸井こずゑ(埼玉県立大学)、櫻井 進(東京工科大学)、杉本恵子(藤田医科大学)

関 貴行(文京学院大学)、多田達史(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京医科歯科大学)、

星 雅人(藤田医科大学)、松田和之(信州大学)、本木由香里(山口大学)

臨床検査学教育 第 14 巻 第 1 号

令和 4 年 3 月 1 日 発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒 143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒 104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒 102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501